

時間割コード	G2B4J102	開講年度	2026						
授業題目	ミクロ経済学入門【EA】					担当教員	増原 宏明		
英文授業名	Introductory Microeconomics						廣瀬 要輔・本多 純・下平 勇太・三上 亮		
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	ShinXiaコース選択者が優先		
講義室				授業形態	e-Learning	遠隔授業科目	該当	備考	
信大コンピテンシー	非該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】		
	大学DP								
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	経済学の基礎をなすミクロ経済学の基本的な考え方を理解できるようになる。ミクロ経済学の基本的な考え方をを用いて、経済現象を理論的に解釈できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他								
(3)全学横断特別教育プログラム	ShinXiaコース(ShinXia)								
(4)授業の概要	まず、経済学的な考え方に関する基礎知識を解説し、その上で、経済学の考え方の基本である、需要と供給の理論について考えてみます。その上で、価格変化への消費者の反応など、市場取引の特徴について理解を深めることとします。その後、需要と供給の理論に基づいて、現実に行われた政府の政策の効果を分析します。なお、講義は、下記の授業計画の通り、トピックス毎に、三上、広瀬（要）、下平、増原、本多の5人によって行われます。なお、この授業は全ての授業をe-Learningで行うオンデマンド授業となります。動画はLMS（Learning Management System. 学習管理システムで、eALPSもしくはShinXiaのことです）に掲載します。								
(5)授業のキーワード	ミクロ経済学、市場メカニズム、需要、供給、経済政策								
(6)授業計画	第1回 三上亮 イン트로ダクション、経済学の十大原理 第2回 三上亮 経済学者らしく考える 第3回 三上亮 相互依存と貿易（取引）からの利益 第4回 広瀬要輔 需要と供給 第5回 広瀬要輔 均衡と需要曲線・供給曲線のシフト 第6回 下平勇太 需要の弾力性：基礎 第7回 下平勇太 需要の弾力性：発展 第8回 下平勇太 供給の弾力性 第9回 増原宏明 消費者余剰と生産者余剰 第10回 増原宏明 市場の効率性と余剰の計算 第11回 本多純 税金 第12回 本多純 応用：課税の費用 第13回 本多純 応用：国際貿易 第14回 増原宏明 外部性と市場の効率性 第15回 増原宏明 外部性に対する公共政策 ※授業アンケートを実施する								
(7)成績評価の方法	各教員の授業終了後に小テストを行い、学期末に期末テストを実施します。小テストは、LMS上で実施し、選択問題もしくは計算問題が出題されます。また学期末の期末試験についても、同様の形式で実施します。小テスト、期末試験の受験方法の詳細は、LMSに掲載しますので、必ず確認するようにしてください。授業動画では、小テストに向けた練習問題等も説明します。成績評価は、小テスト(50%。各教員10%。ただし第14回と15回は期末試験で評価するため、小テストは行わない)と期末試験(50%)を目安に総合して行います。								
(8)成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題から難しい応用問題が解ければ「卓越している」、と判断します。								
(9)事前事後学習の内容	講義の内容を理解し、単位を取得するためには、講義資料や教科書の内容を暗記するだけでは不十分です。講義に対応する教科書中の例題を実際に解いてみるなどの練習を繰り返すことが、講義内容を習得する上で役に立つはずです。動画を全部をまとめて視聴すると大変ですので、毎週、決まった時間に視聴することをお勧めします。								
(10)履修上の注意	復習の過程で不明な点や理解できない点が出てきた場合、必ず担当教員に質問するよう心掛けること。経済学の分析による帰結は、普段、直観的にイメージしていることとは異なることが少なくありません。学習した内容をすぐに確認し、理解するように努めて下さい。小テストは、理解の度合いを試す機会と位置付けられます。小テストに関する情報はLMSに掲載しますので、毎週必ずLMSを確認してください。講義の内容については、毎回資料を掲載するほか、必要に応じて参考文献を紹介するので、それらを活用すること。								
(11)質問,相談への対応	【EA】授業であるため、メールにて質問を受け付けます。ただし、受講人数が多いため、毎年同じ質問が寄せられると、担当者が対応しきれません。皆様からよく寄せられる質問については、LMSに注意事項として掲載しています。とりわけ事務手続きについては、こちらがすべてを把握できていないので、まずは大学のホームページとLMSを熟読してください。授業内容についてわからないことがありましたら、メールで質問をお寄せください（masuhara_at_shinshu-u.ac.jp）。さらに、授業内容に関する質問については、他の学生にとっても有用であることが多いため、質問（個人情報掲載しません）と回答をLMSに掲載させていただきますので、あらかじめご了承ください。（_at_は、@に置き換えてください）								

(12)授業への出席	ミクロ経済学入門は、全ての授業をe-Learningで行う【EA】授業となります。授業動画をLMSで公開します。質問はLMSで受け付けます。また、小テスト・期末試験の日程や実施方法もLMSでお知らせします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	LMS上の授業の動画は、成績が確定されるまでは閲覧できるようにします。
【教科書】	マンキュー経済学Ⅰ ミクロ編（第5版） N・グレゴリー・マンキュー（著）、片桐満，篠潤之介，溝口哲郎（翻訳），センゲージ・ラーニング株式会社，4,950円 ISBN-13: 978-4807918126 ただし，講義資料と講義動画は，以下の「第4版」に基づいています。 マンキュー経済学Ⅰ ミクロ編(第4版) N・グレゴリー・マンキュー（著），足立英之，柳川隆，石川城太，小川英治，地主敏樹，中馬宏之（翻訳），東洋経済新報社，4400円 ISBN-13: 978-4492315194
【参考書】	必要に応じて，授業中に随時紹介します。